

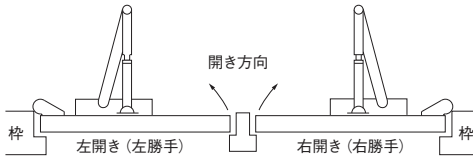
# ドアクローザ

ドアクローザは、用途に応じた数多くの機種を用意しております。  
 ドアの種類、大きさ及び取付方法等に合った最適なものをお選び下さい。  
 ドアや壁及びドアクローザの破損防止の為、ドアを最大に開いた位置に戸当りを設置して下さい。

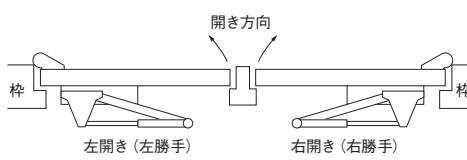
## ■ドアの取付形式・左右勝手

- ドアを押して右に開く場合が右開き（右勝手）、左に開く場合が左開き（左勝手）です。
- スタンダード型はドアの開く側に、パラレル型はドアの開く反対側に取付けます。

### スタンダード型



### パラレル型



- 標準品は最大180°まで開くことが出来ます。（CLS-7002・CLS-7003は100°まで、PS-3001ZAM・PS-3002ZAMは120°まで、81・181は150°まで開くことが出来ます。）各シリーズの説明を参考の上お選び下さい。

## ■力とドアの大きさとの関係

ドアクローザは内蔵された力の強さによって7種類に分けられます。ドアの大きさ・重量を基準に各シリーズの品番の末尾番号より最適なものをお選び下さい。

- 吊金具により、開閉力は変わります。
- ドア幅（DW）寸法が小さくなると、ドアを開くのが重くなります。
- 各機種の適用ドア寸法以外のドアに使用されますと開け力が重くなったり、閉まらない場合があります。
- 風の強い場所に使用される場合は、1ランク上の品番をご検討下さい。

末尾番号	適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下
1	800×1800	30
2	900×2100	45
3	950×2100	65
4	1050×2400	85
5	1200×2400	120
6	1800×2700	180
7	2000×3000	250

国土交通大臣認定番号  
CAS-0257 (IBCAS-0002)

「社団法人日本サッシ協会」はIBCAS-0002を新たにCAS-0257として認定取得されました。構造・運用などにつきましては、「社団法人日本サッシ協会」及び「社団法人日本シャッター・ドア協会」にお問い合わせ下さい。

■防火設備 危害防止措置の義務づけ  
 建築基準法施行令第112条 関係の改正により、新たに防火ドアの閉鎖、又は作動時の安全性確認が義務づけられました。

改正の概要（平成17年12月1日国土交通省告示第1392号）  
 ①閉鎖作動時の運動エネルギー（(1/2)MV<sup>2</sup>）が10J以下であること。  
 M: 防火設備の質量（kg）  
 V: 防火設備の閉鎖作動時の速度（m/s）  
 ②当該防火設備の質量が15kg以下であること。又、質量が15kgを超えるものにあつては、水平方向に閉鎖するもので閉じ力が150N以下であること、もしくは周囲の人と接触した場合に5cm以内で停止すること。

新たに義務づけられる安全性能  
 ● 運動エネルギーが10J以下であること。  
 ● 閉じ力が150N以下であること。

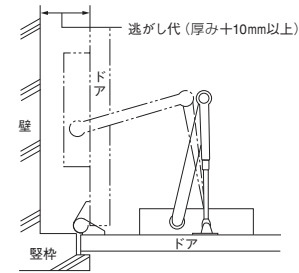
確認資料はドアクローザ工業会のホームページをご参照下さい。（<http://www.dcmajp>）

## ■取付条件とブラケット・アームの選び方

### ●スタンダード型の場合

#### 壁との間隔

90°開きの場合、クローザ本体の厚み以上の間隔（厚み+10mm以上）をあけて下さい。

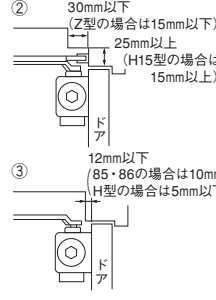
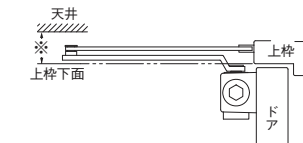


#### 天井及び上枠の形状

アームの正常な取付やスムーズな開閉動作が出来るように、①②③寸法を厳守願います。

①上枠下面と天井の隙間（※印）

- ストップ付の場合 — 50mm以上
- S-7006~7 — 80mm以上
- ストップなしの場合 — 40mm以上
- 7006~7 — 55mm以上
- 7001H~7007H — 25mm以上
- 81H~84H — 25mm以上
- 5002H — 25mm以上
- 7001H15~7005H15 — 15mm以上



#### アームの形状

##### H型

天井が低い場合



##### ベントアーム型

(S)-7002~(S)-7005



##### Z型

開き角度が90°、又は120°制限の場合



### ●パラレル型の場合

上枠の形状、寸法などにより、ブラケット及びアームの形状を選ぶ必要があります。枠・ドアの状態に応じたものをお選び下さい。

#### 標準ブラケット

一般的形状の上枠戸当り下面（戸じゃくり）に取付

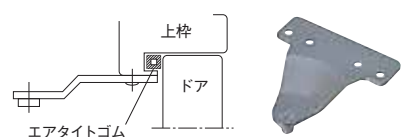


#### 段付ブラケット (A)

戸じゃくり（●部）があり、戸当り部分が狭く上枠下面に取付

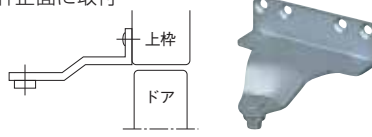


#### エアタイトドア用ブラケット (AP)



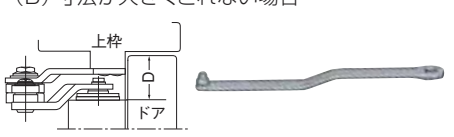
#### アングルブラケット (L)

上枠正面に取付

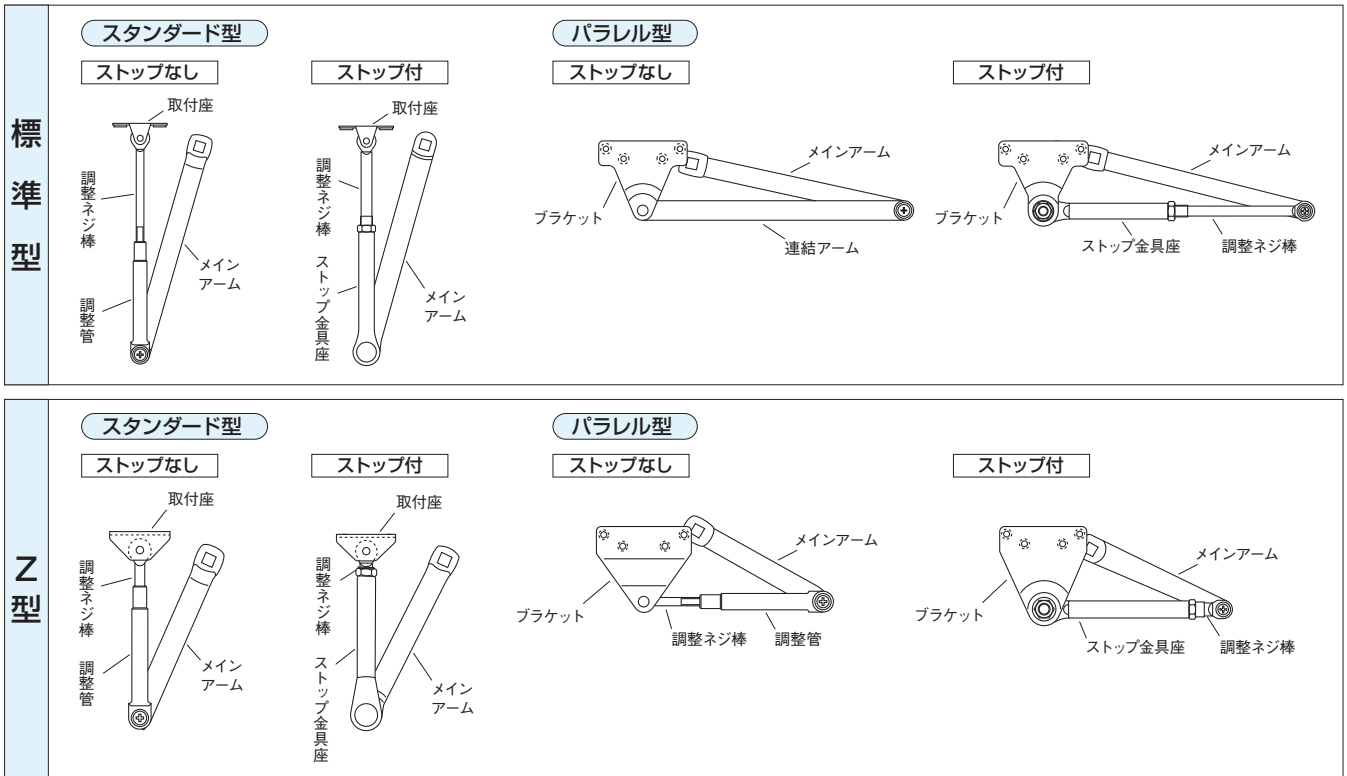


#### 段付アーム (K)

(D) 寸法が大きくとれない場合



## ■アームの形状及び部品名



## ■ストップ角度の設定

ストップ用ボールがストップ用カムにはまった状態で、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。(出荷時、ストップ用ボールとストップ用カムははまった状態で、ブラケット、又はメインアームは回転する程度に設定してあります。ブラケット、又はメインアームとストップ金具座の連結部分は絶対に分離しないで下さい。) ブラケット、又はメインアームとストップ用カムの刻み目を確実に噛ませて下さい。  
(戻り代がありますので設定した角度から若干戻ります。)

締付ナット寸法(二面幅):

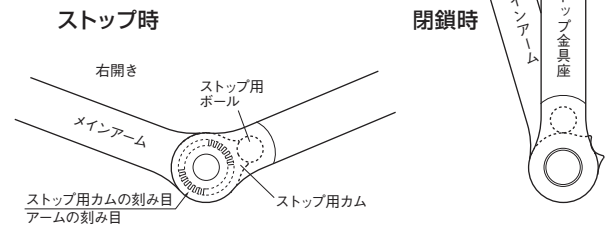
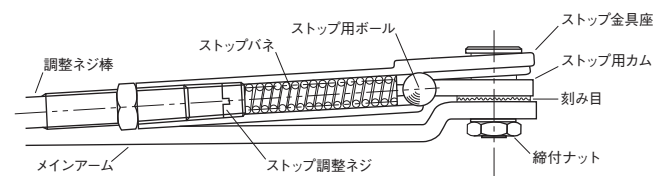
末尾番号#1~3→17mm

// #4~5→19mm (#85除く)

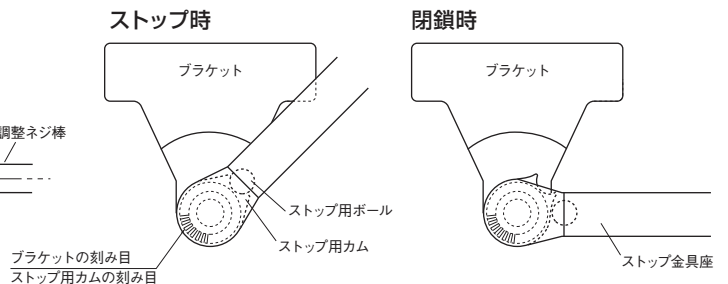
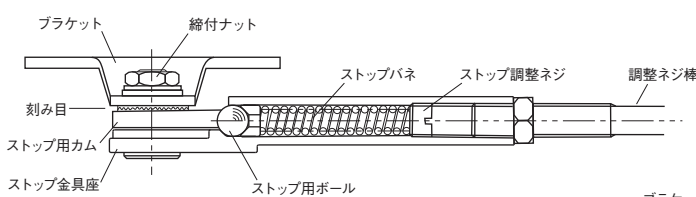
// #6~7→24mm (#86除く)

// #7710Vシリーズ→19mm

### ●スタンダード型 70°~120°の任意の角度に設定可能です。

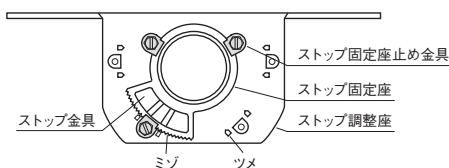


### ●パラレル型 70°~180°の任意の角度に設定可能です。



### ●185・186・P-185・P-186・F-182~F-186・PF-182~PF-186

ストップさせたい位置で、ストップ調整座のツメとストップ固定座の歯形のミズがはまり込むようにセットする。ストップ金具がガタつかないようにストップ固定座止め金具(3ヶ所)で固定して下さい。



ドアの吊金具(ピボットヒンジ、又は丁番)の種類によってアームの回転角度が変わりますので、ストップ金具の調整によりストップ角度を設定して下さい。

詳細は納まり図をご参照下さい。

## ■ストップ力の調整

ストップ保持力は最大に設定しています。弱くしたい場合は、ナットを緩め、ストップ金具座から調整ネジ棒を外し、中にあるストップ調整ネジを左へ少しずつ回して調整して下さい。

